

令和 8 年度

R 8 波土 天神前急傾斜 牟・川長 斜面对策工事

天神前急傾斜地崩壊危険区域

海部郡牟岐町川長

設計図面

位置図 S=1:2500

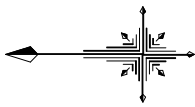


当初設計図面
天神前 急傾斜

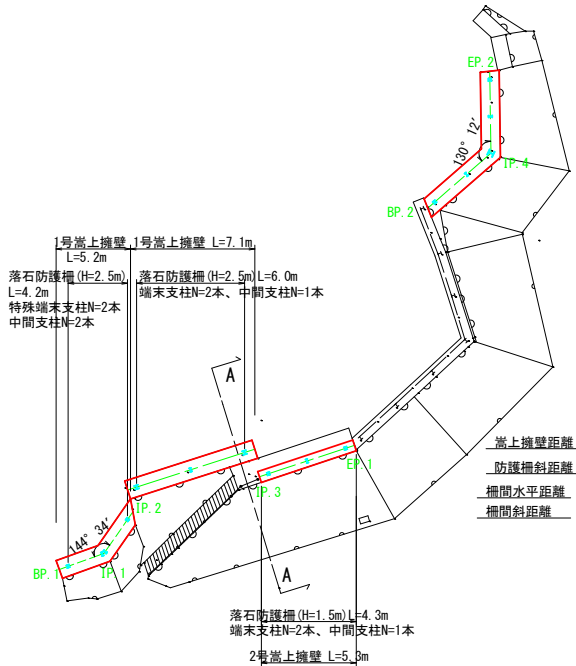
工 事 名	R8 波土 天神前急傾斜 牟・川長 斜面对策工事		
路線名等	天神前急傾斜地崩壊危険区域		
工事箇所	海部郡牟岐町川長		
図 面 名	位置図		
縮 尺	1:2500	図面番号	1 / 6
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

計画一般図

平面図 S=1:200

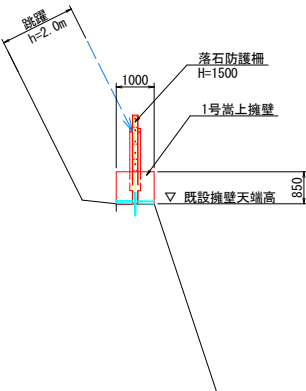
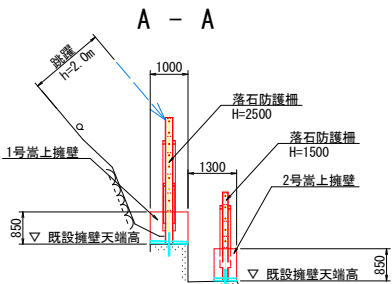


1 工 区



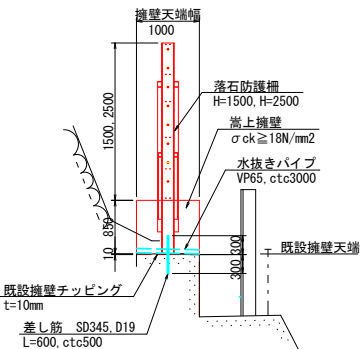
標準断面図 S=1:100

B - B (参考)

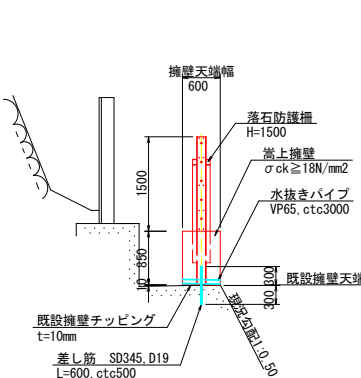


嵩上擁壁+落石防護柵 S=1:60

1 号

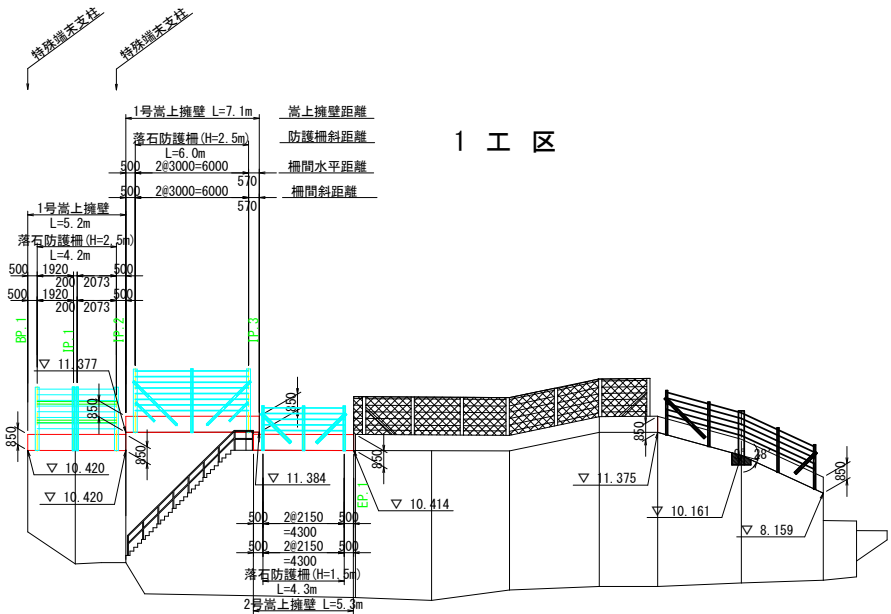


2 号



展開図 S=1:200

1 工 区



※ IP. 1の天端は、金網最下端と干渉しない高さとする事。

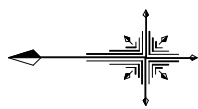
当初設計図面
天神前 急傾斜

工 事 名	R 8 波土 天神前急傾斜 牟・川長		
路線名等	天神前急傾斜地崩壊危険区域		
工事箇所	海部郡牟岐町川長		
図 面 名	計画一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 6
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

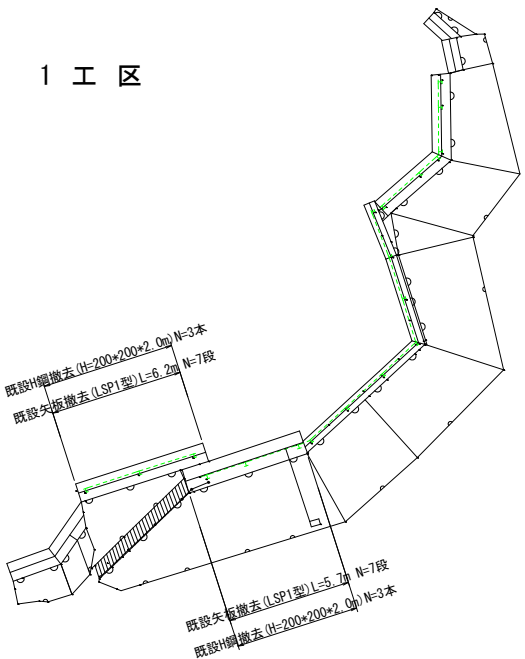
既設防護柵撤去図

平面図

S=1:200



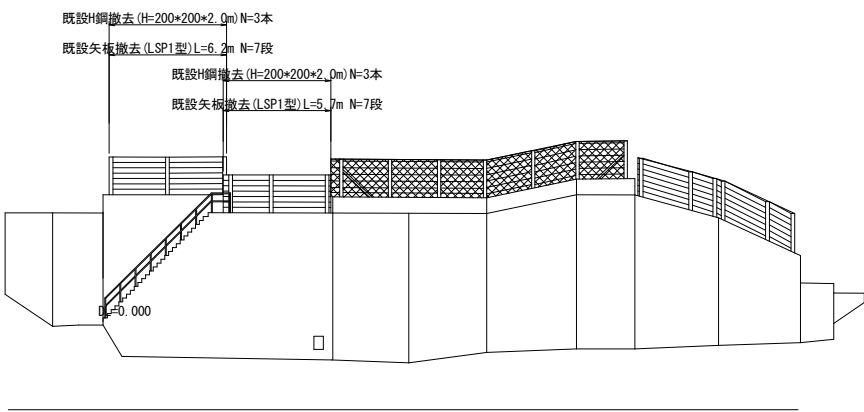
1 工 区



正面図

S=1:200

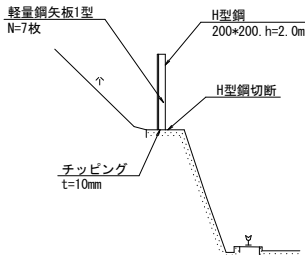
1 工 区



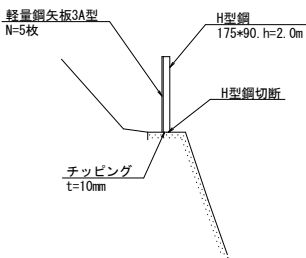
標準断面図

S=1:100

A - A

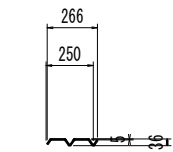
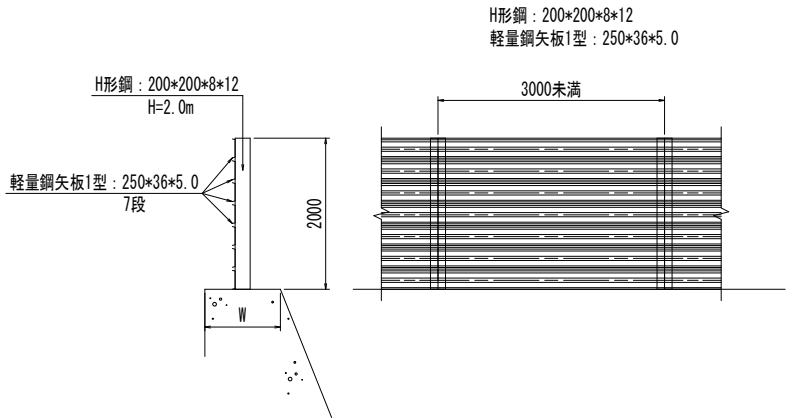


B - B

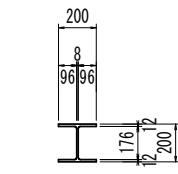


既設落石防護柵詳細図

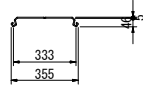
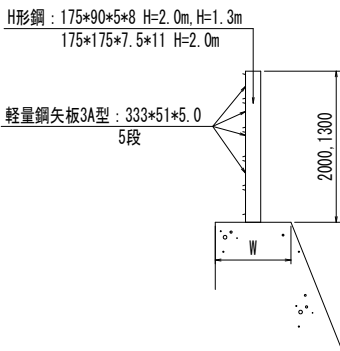
S=1:20



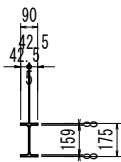
軽量鋼矢板1型: 250*36*5.0
A=16.47cm²
W=12.9kg/m
切断箇所数
N=(9+9+15)*2*7段+(1+1+1)*1*7段+1*1*11段
+16*2*5段+1*1*5段=659箇所
撤去重量
L=(6.2+5.7+8.9+20.6+6.6+14.6+8.1+10.0)*7
+(11.1+20.4+6.0+6.2)*5=783.4m
W=783.4m*12.9kg/m=10106kg



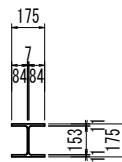
H形鋼: 200*200*8*12
A=63.53cm²
W=49.9kg/m
切断箇所数
N=12+9+19=40箇所
撤去重量
L=40*2.0=80.0m
W=80.0m*49.9kg/m=3,992kg



軽量鋼矢板3A型: 333*51*5.0
A=22.76cm²
W=17.9kg/m
切断箇所数
N=5*2*5段+1*1*3段=53箇所
撤去重量
L=(5.9+9.4)*5段-0.6*2段=75.3m
W=75.3m*17.9kg/m=1,348kg



H形鋼: 175*90*5*8
A=23.04cm²
W=18.0kg/m
切断箇所数
N=(4+1)=5箇所
撤去重量
L=4*2.0+1*1.3=9.3m
W=9.3m*18.0kg/m=167kg



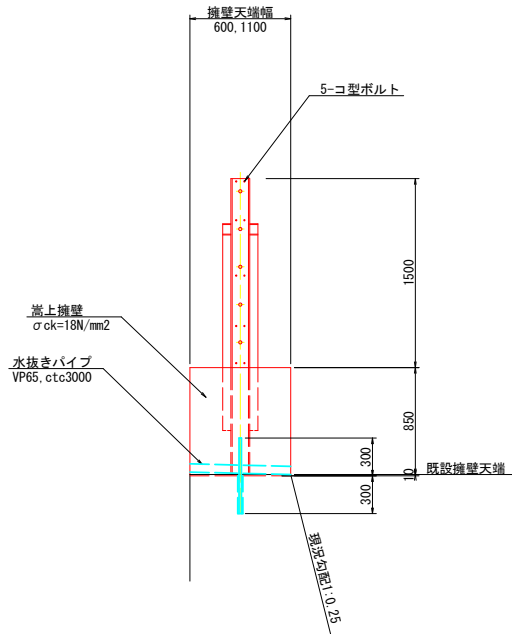
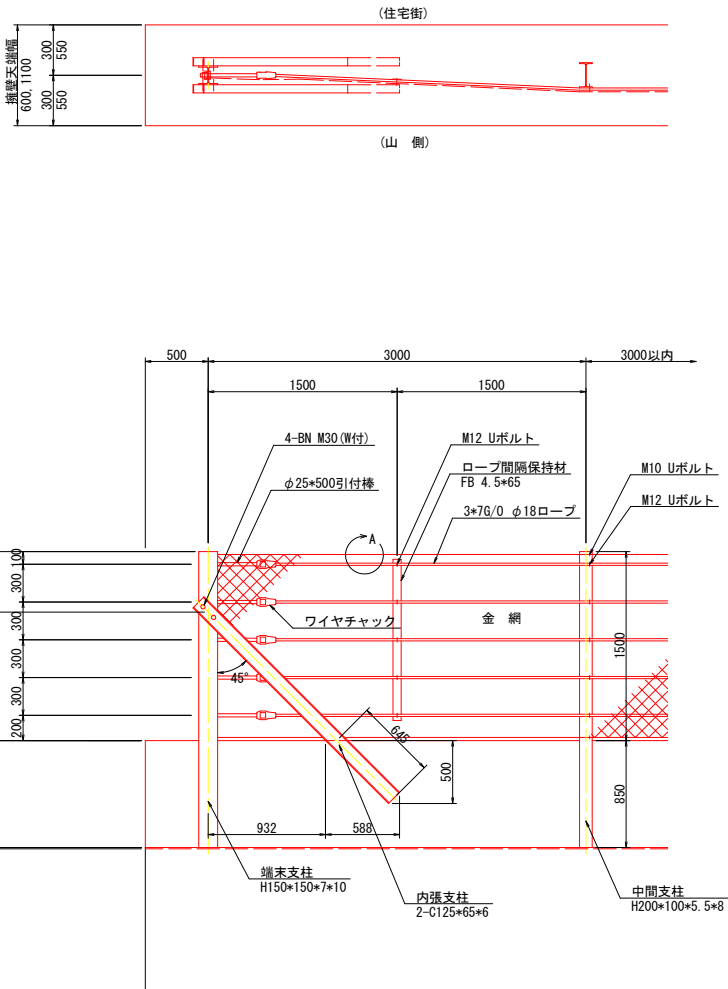
H形鋼: 175*175*7.5*11
A=51.43cm²
W=40.4kg/m
切断箇所数
N=21+1=22箇所
撤去重量
L=21*1.5+1*2.0=33.5m
W=33.5*40.4kg/m=1,353kg

当初設計図面
天神前 急傾斜

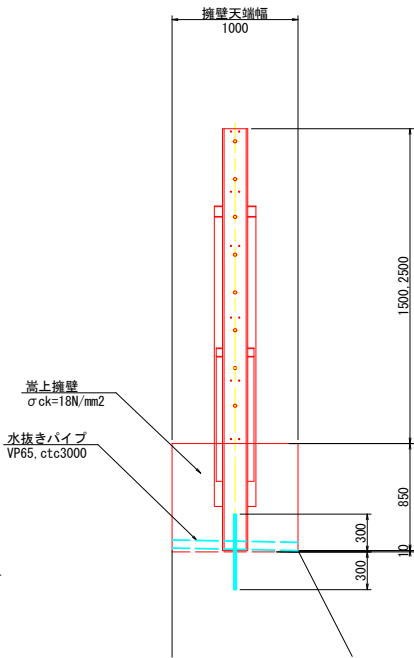
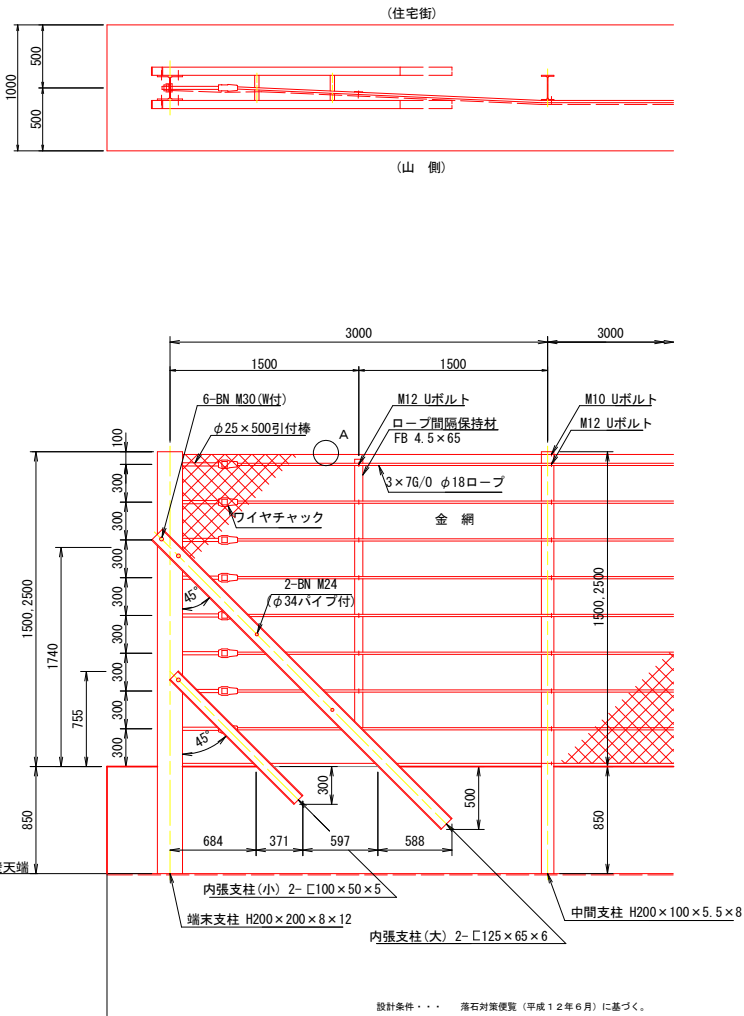
工 事 名	R 8 波 土 天神前急傾斜 牟・川長 斜面对策工事		
路線名等	天神前急傾斜地崩壊危険区域		
工事箇所	海部郡牟岐町川長		
図 面 名	既設防護柵撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 6
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

構 造 図 (1)

2・3号嵩上擁壁 落石防護柵 (H=1500) S=1:30



1号嵩上擁壁 落石防護柵 (H=1500, 2500) S=1:30

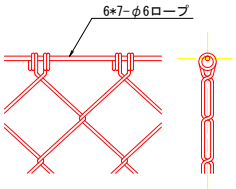


設計条件——落石対策便覧（平成29年12月）に基づく。
擁壁基礎に斜角がある場合は、内張支柱の根入長（斜方向645mm）が確保できるよう、支柱を延長すること。

設計条件・・・ 落石対策便覧（平成12年6月）に基づく。
<注記> 結束については「施工要領」による。

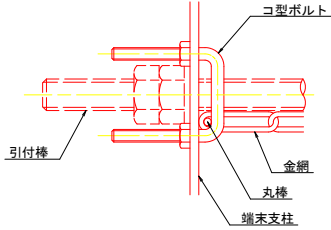
A部詳細図 S=1:5

完全式菱形金網



6*7-φ6ワイヤロープの端末は
折返しワイヤクリップ2ヶ止め

金網端部処理図 S=1:3



1～4号嵩上擁壁		1.0m当り		
名 称	規 格	1 号	2 号	3 号
天端幅		1.000 m	0.600 m	1.100 m
コンクリート	18-8-40	0.860 m3	0.516 m3	0.946 m3
型枠	一般無筋構造物	1.720 m2	1.720 m2	1.720 m2
差し筋	SD345 D19	2.700 kg	2.700 kg	2.700 kg
削孔	電動ハンマドリル D=300	2.000 箇所	2.000 箇所	2.000 箇所
水抜きパイプ	VP65	0.333 m	0.200 m	0.367 m
足場工	キャットウォーク	1.000 m	1.000 m	1.000 m
チッピング	t=10mm程度	1.000 m2	0.600 m2	1.100 m2
目地材	澀青繊維質 t=10mm	0.086 m2	0.052 m2	0.095 m2

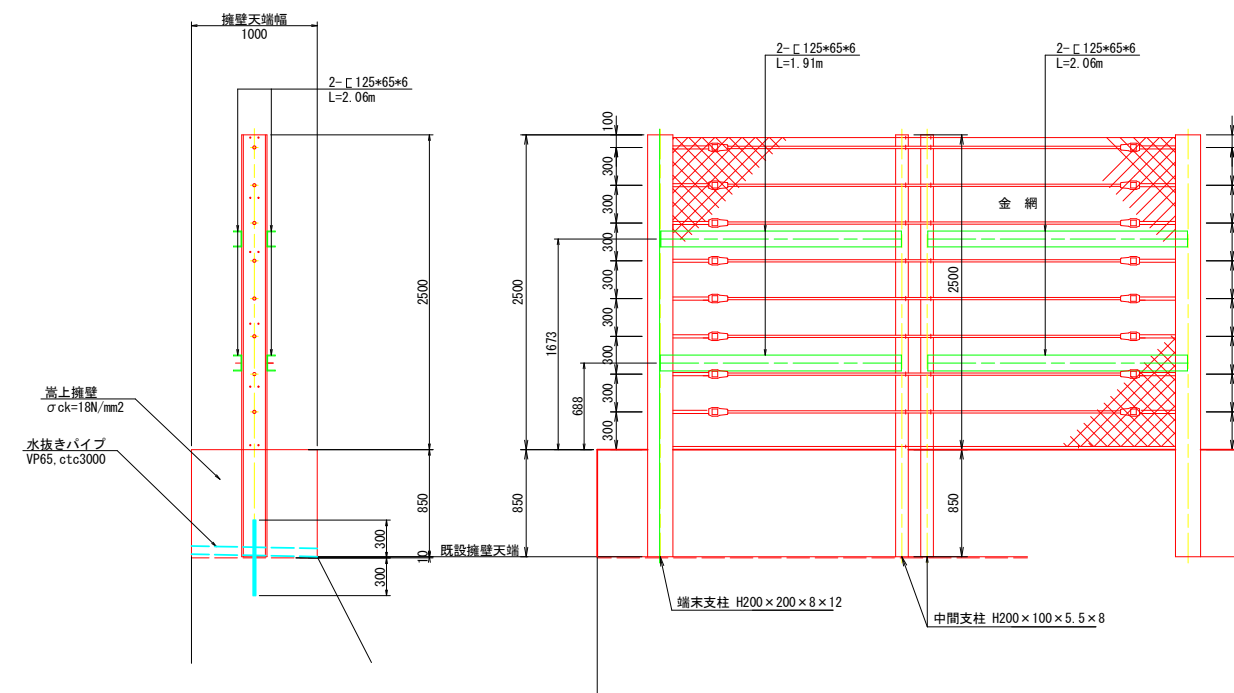
当初設計図面

天神前 急傾斜

工 事 名	R 8 波土 天神前急傾斜 牟・川長 斜面对策工事		
路線名等	天神前急傾斜地崩壊危険区域		
工事箇所	海部郡牟岐町川長		
図 面 名	構造図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 6
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

構造図 (2)

特殊端末支柱 (1工区 BP. 1~IP. 2) S=1:30



当初設計図面

天神前 急傾斜

工 事 名	R8 波土 天神前急傾斜 牟・川長 斜面対策工事		
路線名等	天神前急傾斜地崩壊危険区域		
工事箇所	海部郡牟岐町川長		
図 面 名	構造図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 6
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		

施工計画図（参考図）

正面図 S=1:200

標準断面図 S=1:100

平面図 S=1:500

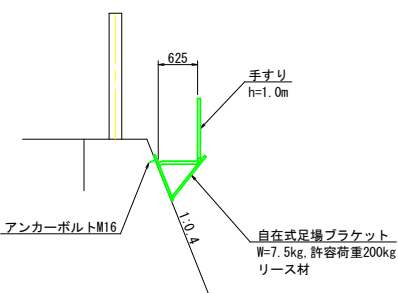
1 工 区

基本事項

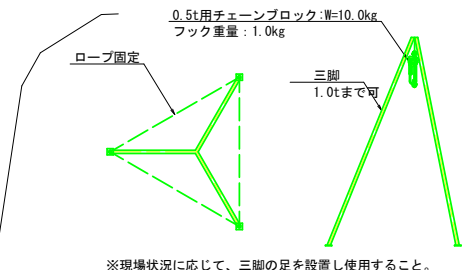
- ・空き地を借地し、ラフテレーンクレーンを配置し、クレーンによる直接吊り込み施工とする。
- ・クレーンの規模は4.9t吊りとし、下記の条件より吊半径20.0mとする。
1)吊荷重 (W=0.34t程度) から求まる作業半径 : R=20.0m
2)揚程高 (H=10m程度) から求まる作業半径 : R=20.0m
- ・作業半径外は、工事用モノレールで資材の運搬を行う。一部、不整地走行車の使用も可能である。
- ・嵩上擁壁のコンクリート打設は、ポンプ車+圧送管による打設が可能である。
- ・コンクリート打設時には通常足場を計上するが、擁壁下には民家が接近し、通常の単管傾斜足場の設置は困難である。よって砂防工事で採用されるキャットウォーク足場を採用する。

支柱吊込み作業半径
フック質量 : 70kg (主巻)
吊り荷 : 265kg (貫通支柱: H-300、L-2.85m)
合計吊荷重 : 0.34t
↓
作業半径 : 最大R=20.0m

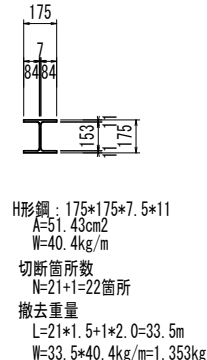
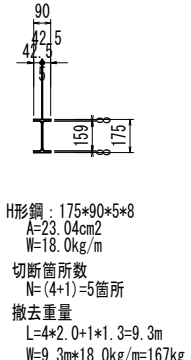
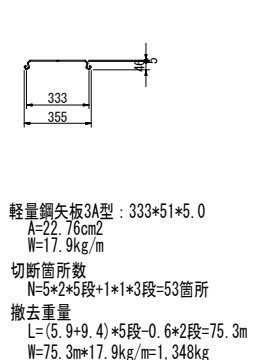
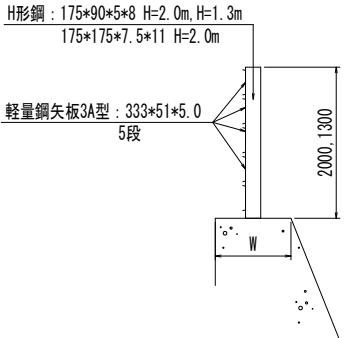
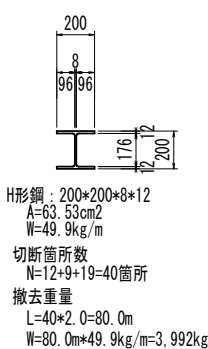
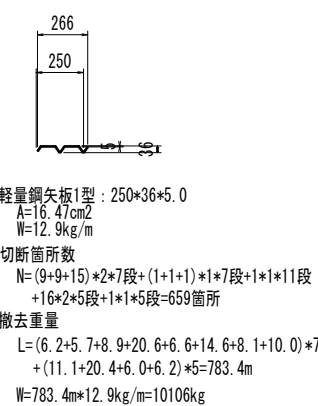
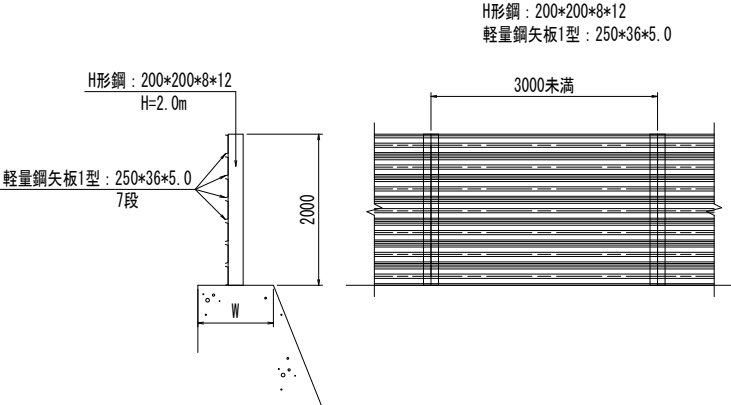
キャットウォーク外観図



チェーンブロック外観図 S=1:60



既設落石防護柵詳細図 S=1:20



当初設計図面
天神前 急傾斜

工 事 名	R 8 波 土 天神前急傾斜 牟・川長 斜面对策工事		
路線名等	天神前急傾斜地崩壊危険区域		
工事箇所	海部郡牟岐町川長		
図 面 名	施工計画図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 6
会 社 名			
事業者名	徳島県美波県土整備事務所		